

ルワンダ月報（２０２５年５月）

※以下は、ルワンダ主要メディア（RNA、New Times等）の記事取りまとめ。

1. 政治・外交

今月のカガメ大統領の主要な動き以下のとおり。

- 2日、当地訪問中のドゥンブヤ・ギニア大統領と会談を実施。
- 3日、ガボン訪問。オリギ・ンゲマ・新ガボン大統領の就任式に参加。
- 6日、スポリアリッチ国際赤十字委員会（ICRC）会長と当地におけるICRCの活動について会談。同会長の当地訪問は初。
- 7日、パリ訪問。マクロン仏大統領とコンゴ(民)民東部を巡る平和とビジネスについて意見交換。
- 12～13日、コートジボワール訪問。アフリカCEOフォーラムに参加。ウワタラ・コートジボワール大統領やガズワニ・モーリタニア大統領等と会談。
- 23日、当地トリニティ・メタルズ社が所有するアフリカ最大のタングステン¹の生産量を誇るニャカビンゴ鉱山を訪問。同社は当国から米国への錫の新規サプライチェーンを確立すべく、今月、米務省にて米国最大の錫及び錫合金製造会社であるネイサン・トロッター社と契約した。
- 27～29日、カザフスタン訪問。アスタナ国際フォーラムに参加。トカエフ・カザフスタン大統領と二国間会談を実施し、外交・政治、ICT、教育、農業、金融等に関する5つの協力協定を締結。

外交に関し、

- トランプ政権は米国に滞在する犯罪歴のある移民をルワンダやリビア等へ送ることを検討。米国で刑期を終えた移民を受け入れ、生活費や就職支援を行う主旨の合意を交渉しているとみられる。

開発協力に関し、

- 6日、シンガポールとカーボンクレジットの取引に関する二国間実施協定を締結。
- 21日、ムランガ財務経済計画大臣は、SDGsを推進するための国連のルワンダにおける戦略的計画である「国連持続可能な開発協力枠組み（UNSDCF）2025－2029」に署名。本枠組みは、ルワンダの第二次国家変革戦略（NST2）に則して作成されており、国連は今後5年間で10.4億米ドルを動員予定。

2. 経済

● 2025～2027年度にかけてのルワンダのマクロ経済及び財政政策の方向性を示す中期的な指標である予算枠組み文書を発表。今年度の予算は7,032.5億ルワンダフランであり、2024年度予算より21%増加見込み。当予算の内、4,105.2億ルワンダフランを国内収入（内税収88.4%）、他を外債等で賄う方針。

● S&Pグローバルは、ルワンダの信用格付を「B+（安定的な見通し）」に維持。ルワンダ経済は気候変動や地政学的リスクを抱えているが、税制改革等によって財政状況は改善するとの見方。